

利根中央病院

4月常勤医師交代のお知らせ

- 着任
 - 【総合診療科】 松原侑紀・木村彰仁・捧 博人
 - 【小児科】 笠原悠佑
 - 【整形外科】 高橋 駿
 - 【整形外科】 長島泰人・川上詩織・岡田和也
 - 【脳神経外科】 長岐智仁
 - 【外科】 岩崎竜也
 - 【産婦人科】 小松央憲
- 退任
 - 【消化器内科】 小林 剛
 - 【総合診療科】 小林喜郎・吉田卓生・山口高史
 - 【小児科】 八木龍介
 - 【整形外科】 中島知貴・高橋 佑
 - 【外科】 細井信宏
 - 【産婦人科】 都築俊平

地域と多職種 協同での育成 JCEP認定とエクセレント賞



JCEP(卒後臨床研修評価機構)とは、臨床研修病院における研修プログラムの評価を目的として、臨床研修病院の質の向上を図ることを目的として、第三者機関となっており、一定の基準をクリアした病院に認定されています。

当院は2018年に初回認定を受け、11月30日に更新訪問調査の受審となり、さらにより高い基準を満たした病院に贈られる「エクセレント賞」も受賞しました。

医師の働き方改革を含め、課題は山積してはいますが、よりよい研修環境・指導環境の整備にとりくんでいきたいと思っております。

研修の一例



PICC講習会



基本技術研修(採血練習)

栄養サポートチームとは、患者様の病状・個別性を考慮した最適な栄養管理の提供を活動目的とする医療チームです。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等様々な職種が協働し、広い視野で患者様の「栄養」を支援しています。資格を取得できたため、より一層患者様の栄養について考えサポートしていきたいと思っております。

栄養サポートチーム(NST) 専門療法士の紹介



森下 光

『私を成長させてくれた事例』 臨床研修報告会



※撮影時のみマスクを外しています

3月4日(土)、2022年度群馬県民医連臨床研修報告会がオンラインで開催されました。

この企画は、群馬県民医連に所属する初期研修医および専攻医が「私を成長させてくれた事例」をテーマに、一年間の研修で得た学びや知識を指導医や多職種と共有することを目的としており、全体で26演題の発表がありました。臨床現場での経験に限らず、学会発表や育休の体験談など、多様性に富んだ報告がされました。報告会の最後には会場ごとに研修修了者へ記念品贈呈のセレモニーが行われました。

最優秀賞受賞 すこしおレシピコンテスト

医療福祉生協連の「すこしおレシピコンテスト2022」において、インスタント・レトルト部門に応募した利根中央病院・管理栄養士の千吉良萌美さんの「ピリ辛トマトつけ麺」が最優秀賞に選ばれました。

レシピのできたいきさつを聞くと、麺を好む土地柄、簡単にできるものをと考えたそうです。

医療福祉生協連では「少しの塩分」で「すこやかな生活」をめざす「すこしお生活」を普及しています。一日6gの塩分をめざしましょう。



- 【材料】(塩分2g)
- サッポロ一番塩ラーメン..... 1袋
 - 豚バラ肉..... 50g
 - 舞茸..... 15g
 - カットトマト..... 200g
 - にんにくチューブ..... 小さじ1/4
 - 生姜チューブ..... 小さじ1/4
 - ラー油..... 適量
 - きざみのり..... 適量

- 【作り方】
- ①豚肉と舞茸をたべやすい大きさに切る。
 - ②器に①・カットトマト・調味料・付属の粉末スープ1/2袋を加えてレンジ(600W)で3分加熱。
 - ③軽く混ぜ、プラス30秒加熱。最後に付属のゴマをかけ、お好みでラー油を入れる。
 - ④インスタント麺を表記通りに茹で、水にさらして皿に盛り。きざみのりをのせて完成。
- 【ポイント】
- ①電子レンジで簡単調理。野菜や肉の種類、辛さはお好みでアレンジ可能。
 - ②粉末スープを半量にしたり、麺を水にさらしたりすることで塩分をカット。
 - ③香味野菜や辛みを利用して、減塩でも美味しく食べられる。



フードドライブ「おすそわけ」

皆様のご厚意が たくさんの方に喜ばれています



日時 4月15日(土) 10時~なくなり次第終了
偶数月の第3土曜日を定期開催としています

場所 とね虹の里

※食品(乾物やレトルト・調味料ほか)、日用品、生理用品などを募集中!

【連絡先】 生協くらしサポートセンター(☎0278-22-2300) 各事業所でもお受けしています

各事業所でマイナンバーカードが健康保険証として利用可能に

2023年4月1日(土)運用開始(予定)
利根中央病院、利根中央診療所、片品診療所(医科)

2023年5月1日(月)運用開始(予定)
利根歯科診療所、生協みなかみ歯科、片品診療所(歯科)



2023. 4月号
医療相談室

訪問診療のご紹介 〜家庭医として〜



利根中央病院
総合診療科 医長
宇敷 萌

利根中央診療所では、総合診療科の医師が訪問診療を行うようになりました。

今回は、訪問診療ではどんなことができるのかなどをご紹介します。もし、訪問診療を利用したいといったご相談がありましたら、まずは病院の総合支援センターや利根中央診療所までお問合せください。

訪問診療とは？

訪問診療とは、医師、看護師が定期的に月に1〜2回、ご自宅もしくは施設（一部制限あり）に伺い、診察を行うとともに、必要な処置や検査、処方を行うことです。対象になるのは、病状により通院が難しい

方が主な対象となります。費用負担は、治療内容や健康保険負担割合、居住場所（診療所からの距離に応じた交通費）などでも変わります。

なお、利根保健生協では、通院支援も行われており、車がない、運転できない、他の交通手段が難しい

といった方でも、車の乗り降り可能な方はそちらの利用をお願いしています。

対象となる方(例)

- 酸素ボンベや呼吸器を使いながらの移動が難しい
- 動くだけで息切れしてしまい移動ができない
- 長時間外来で待っているのが難しい
- 痛みや体力の低下で通院が難しい
- 自宅が最期まで過ごしたい
- 自宅や施設でも車椅子に乗せて受診するのは難しい
- ※その他、状況に応じて相談させていただきます

訪問診療でできること



診察を行ったうえで、必要な薬の処方や処置（各種カテーテルなどの交換や傷の手当、点滴、注射など）、検査（血液、レントゲン）などを行います。点滴や処置は、訪問看護師と連携して、看護師に行ってもらうこともあります。ただ、病院とは異なり、検査

臨時の往診って？

定期的な訪問以外にも、体調の悪化などで必要があれば、緊急時の対応は行っております。24時間365日いつでもとはいかず、電話での対応やお待たせしてしまうこともあります。

定期的な訪問診療の契約をされていない方の緊急往診は対応しておりません。そのため、急に動けなくなると受診ができないからといわれて、すぐに往診できるわけではありません。

自宅で過ごすために……

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、入院や施設入所では面会が制限されてしまう状況が続いています。一方、自宅であれば、ご家族との時間を過ごすことができたり、気兼ねなく自分のペースで過ごすことができたりします。自宅でも過ごすために、訪問看護や訪問介護、訪問入浴などのサービスを利用することもおすすめです。

現在の課題

現在は、主に平日の午後（木曜日除く）に対応しています。24時間の訪問看護サービスと連携し、夜間なども臨時対応も行っていますが、何うまで時間が必要なことも多くあります。利根沼田地域は一軒一軒の移動距離・時間が長く、一日に訪問できる件数に限りがあります。そのため、往診対象になるか、対応可能な相談になります。

家庭医の養成

利根中央病院では、プライマリ・ケア連合学会（PCC学会）の認定する家庭医療専門医の養成プログラムを運営しています。PCC学会では「家庭医とは、地域住民の健康のために働く総合診療医のこと」と定義しています。病院の外来や病棟で患者様を診療するだけでなく、訪問診療を中心に、介護、福祉サービスと連携して、暮らしをサポートする役割を担うことができる医師の養成を目指しています。そのため訪問診療には、医学生だけでなく研修医や専攻医も同席させていただくことがあります。

訪問診療の魅力

この間もたくさんの地域の方に研修にご協力いただき、感謝しております。

Aさん 80代

Aさんは、80代の方で、心不全・肺炎で入院となり、点滴などで病状は安定するも食事がとれなくなっていました。ご本人が「お家に帰りたい」と強く希望され、栄養のとれる点滴をしながら、訪問看護、訪問診療を利用して退院になりました。退院後、ご自宅にお孫さんも遠方から顔をみにきてくれるみるみる元気を取り戻し、たくさんお話されるようになりました。病院では見られなかった笑顔がみられるのが何よりもうれしかったです。



Bさん 90代

Bさんは、90代の方で、膵臓がんの診断となりました。食事量も減ってしまっており、急に動けなくなりました。急いで状態ですが、自宅で過ごしたいと希望され、訪問看護のサービスをお願いして利用できるよう調整し、訪問診療開始となりました。一か月程度の経過でしたが、その間に県外のご家族も駆けつけ、ご本人との時間を過ごすことができました。最期は、自宅で家族に見守られながら息を引き取りました。

レスパイト入院制度のご紹介

利根中央病院では、在宅で過ごされている方が、介護されている方の都合などで一時的に自宅にいらなくなる場合に、予定した期間に入院できるレスパイト入院制度があります。病院のベッド状況などにより使えない場合もあります。利用希望の方がいらっしゃれば、ご相談ください。



地域を訪問するなかで

利根沼田の地域で生まれ育った私ですが、この地域の訪問診療に携わるようになり、この地域の美しさを再発見しています。片品川や利根川の流れ、手入れされた田畑の変化、庭木や街路樹の新緑や紅葉、子持山の夕暮れ、谷川や武尊の雪景色などなど。大切にしていきたいなあと思うこの頃です。日々、病院の中で過ごしていると、季節の移り変わりにも気が付かなくなってしまうことがあります。そんな日々のなかで、訪問診療にかかわる時間は、私にとってかけがえのない時間になっています。



水上支部

水上支部は組合員1,462人、運営委員17人で活動しています。毎月一回運営委員会をし、活動報告を受けその後これからの予定や、自分たちの疑問、質問等を話し合いながら活動しています。SDGs宣言では皆さんで話し合いペットボトルキャップを集めることになり、運営委員の時に持ち寄り、社会福祉協議会に届けています。他には通信教育を受けたり、毎年お楽しみ会を開き、大勢の方が参加し、楽しんでます。昨年秋に健康づくり委員会の主催で諏訪峡ハイキング・ウォーキングを実施したところ、皆さん多数参加され、水上の自然の素晴らしさを知っていただき、私たち運営委員は大変喜んでます。これから組合員の皆さんが健康で住み慣れた我が家で一日も長く生活して行けるよう手助けできる活動をしていきたいと思ひます。
※写真は都合により運営委員12人のみ※撮影のためマスクを外しています。

マスク着用継続のお願い

厚生労働省は3月13日(月)以降のマスク着用について、医療機関の受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時にはマスクの着用を推奨しています。

当生協の事業所は高齢者や妊婦、基礎疾患を有する方など、多くの方が利用されます。

周囲の方への感染予防のため、当生協の病院・診療所や介護施設内では引き続きマスク着用のご協力をお願いいたします。職員も勤務中のマスク着用を継続いたします。



医療福祉生協連 2023年 WHO 5.31 世界禁煙デーポスターコンクール

佳作

沼田中学校 1年生 小野なるさん

班会活動

川場支部 中野班

毎月定例で班会を行っています。今回は4色あしぶみラダーの実践をしました。初めての体験だったので、リハビリの職員と一緒にゆっくり行いました。参加者のみなさんと楽しい会話もできました。

まちかど健康チェック

猿ヶ京支部

猿ヶ京サロンと支部で共催して、まちかど健康チェックを行いました。連携職場の職員と協力して、5種類のチェックを延べ100人に受けていただきました。待ち時間には4色あしぶみラダーの実践もできました。

利根歯科診療所 診療ユニット第3・4診察室12台を更新

利根歯科診療所では、長年メインテナンスや修理をしながら大事に使ってきた診療ユニット(治療の時に座るイス一式)のうち、第3・4診察室の12台を入れ替えました。ユニットが新しくきれいになり清潔感も増したので、気持ちよく使っていただけだと思います。患者様からも「診察してもらっているとき、とても楽でした」と感想をいただきました。今後、第1・2診察室のユニットの更新も計画していますので、出資金の増資など組合員の皆さまのご協力をお願いいたします。

生協 ハート市

出店者大募集

日時 4月8日(土) 10時~11時まで

会場 とね虹の里

*雨の場合は中止

左のQRコードから登録すると案内が届きます。

販売予定 人参、わさび菜、スイスチャード、干し芋、リンゴチップス、つながり井、ミニ井、赤飯、肉みそ、蒸し鶏、パン、焼き菓子、カステラなど

生協くらしサポートセンター 0278-22-2300

なかまの作品

「玉ねぎ」
沼田市白沢町下古語父
綿貫よね子(夢の念)

「ガーベラ」
沼田市上川田町
小林千津江(夢の念)

俳句

施設に行きもう一度あいたし春浅き 沼市屋崎 狩野 童子
枯れ草の土手にほほえむ露のとう 沼市磯田町 高橋 理房
玉鋼 祀る 刀匠梅日和 沼市沼田町 角田ひろ子
戦地までつづくこの空蒙古風 沼市米町 貝瀬 久代
乙女らは菓子三昧の離流し 沼市米町 津久井富子
陽の当たる切り株ぐるり犬ふぐり 沼市磯田町 宮田 君子
甦る古雛社の石段に 沼市上川田町 林 明男

短歌

下戸の夫スウィーツ類張り御満悦コーヒー党の 沼市発新田町 和田 ひとみ
親友なるや 沼市発新田町 和田 ひとみ
庭に出で声上げ走り来る孫からのラップ芯の 沼市磯田町 林 千恵美
バトン受けたら 沼市磯田町 林 千恵美
一夜にて独活伸びたるを目に計る電熱入りの 沼市磯田町 倉澤 美代子
ビニールハウスに 沼市磯田町 倉澤 美代子
春を待ち寒さに耐える老夫婦孫の受験で 沼市磯田町 生方次枝
桜咲くなり 沼市磯田町 生方次枝

川柳

ウチの子は人と違うと心配し 沼市白沢町上古語父 藤井平一

作品募集

今月は38件のご応募ありがとうございました。紙面スペースと当季雑誌に沿って掲載させていただきます。なお、楷書でわかりやすく丁寧に書いてください。また、絵手紙や写真、手作り作品など分野にこだわらず作品を募集しています。

〒三三七八-〇〇五三 沼田市東原新町一八六一の一
利根保健生協「なかまの作品係」
メール投稿 nakama@tonehoken.or.jp